

■ 本文

※⑤～⑩は学習用のオリジナル例文（擬古文）です。①～④は古典作品からの引用です。

- ① 世の中にある人とすみかと、またかくのごとし。（『方丈記』）
- ② おごれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。（『平家物語』）
- ③ たけき者もつひには滅びぬ、ひとへに風の前の塵に同じ。（『平家物語』）
- ④ 水の流るるがごとく、月日はとどまることなし。
- ⑤ かの人の心、玉のごとく清らかなり。
- ⑥ 雪のごとき白き花、庭一面に咲きにけり。
- ⑦ その者の走ること、鳥の飛ぶがごとし。
- ⑧ 梅・桜・桃のごとき花、春に咲くものなり。
- ⑨ 光のごとくに速く、使ひ走りて行きけり。
- ⑩ 山のごとく高き波、舟に打ちかかれり。
- ⑪ 君の恩、海のごとく深し。
- ⑫ かの城の堅きこと、鉄のごとくなり。
- ⑬ 過ぎにし日のこと、夢のごとくにはかなし。
- ⑭ ことごとく焼け失せて、跡かたもなきがごとし。
- ⑮ 盛者必衰のことわりをあらはす。（『平家物語』）
- ⑯ この子の賢きこと、大人のごとくにもものを言ふ。

■ 設問（全23問）

1. 傍線部「かくのごとし」（例文①）の「ごとし」の意味として正しいものを、次から選べ。
ア 比況（～のようだ） イ 例示（たとえば～のような）
2. 例文①の「ごとし」の活用形（未然・連用・終止・連体のいずれか）を答えよ。
3. 例文②「春の夜の夢のごとし」の「ごとし」の意味は、比況・例示のどちらか答えよ。
4. 例文②「夢のごとし」の「ごとし」は、何という語に接続しているか。直前の一語を抜き出せ。
5. 例文②「春の夜の夢のごとし」を現代語訳せよ。
6. 例文③「風の前の塵に同じ」は「ごとし」を用いていないが、これと同じ「～のようだ」という比況の意味を、「ごとし」を使って言いかえると「風の前の塵の（ ）」となる。空欄に入る「ごとし」の活用形を、終止形で答えよ。
7. 例文④「水の流るるがごとく」の「ごとく」の活用形を答えよ。
8. 例文④「水の流るるがごとく」では、「ごとく」は何（体言・連体形のどちらか）に「が」を介して接続しているか答えよ。
9. 例文⑤「玉のごとく清らかなり」の「ごとく」は、比況・例示のどちらの意味か答えよ。
10. 例文⑥「雪のごとき白き花」の「ごとき」の活用形を答えよ。
11. 例文⑦「鳥の飛ぶがごとし」の「ごとし」は、直前の「飛ぶ」のどの活用形に接続しているか答えよ。
12. 例文⑧「梅・桜・桃のごとき花」の「ごとき」の意味は、比況・例示のどちらか答えよ。

13. 例文⑧「梅・桜・桃のごとき花」を、例示の意味がわかるように現代語訳せよ。
14. 例文⑨で、「ごとく」は直前のどの語に付いているか。直前の一語を抜き出せ。
15. 「ごとくに」「ごとくなり」は、「ごとし」のどの活用形に何が付いた形か。例文⑨「ごとくに」を例に、簡潔に説明せよ。
16. 例文⑩「山のごとく高き波」について、次の問いに答えよ。
 - (1) 「ごとく」の意味（比況・例示）を答えよ。
 - (2) この一文を現代語訳せよ。
17. 例文⑪「君の恩、海のごとく深し」を現代語訳せよ。
18. 例文⑫「鉄のごとくなり」の「ごとく」の活用形を答えよ。
19. 例文⑬「夢のごとくにはかなし」を現代語訳せよ。
20. 助動詞「ごとし」はク活用型で活用する。次の活用表の空欄ア～エに入る語を答えよ。

未然形（ア）	／	連用形（イ）	／	終止形（ウ）	／	連体形（エ）	／	已然形（○）	／	命令形（○）
--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------	---	--------
21. 次の各文の傍線部について、接続のしかたを後から選べ。
 - (1) 例文⑤「玉のごとく」
 - (2) 例文⑭「なきがごとし」

ア 体言に直接接続 イ 連体形＋「が」に接続
22. 比況の助動詞「ごとし」と「やうなり」について、文体のうえでの使われ方の違いを一つ、簡潔に説明せよ。
23. 記述問題。助動詞「ごとし」の「比況」と「例示」の意味のちがいを、それぞれどんなときに使うかがわかるように、二～三文で説明せよ。